

ぶんと通信

VOL.142
2022.6.1

BUNTO



～和文化体験隊 茶道編～

TOPICS

茶道を通じて改めて思う、思いやりの心。

ワクワクKIDSの和文文化体験隊講師 稲住 邦子 さん

6月から8月の間に全6回のプログラムで行われる「ワクワクKIDSの和文文化体験隊」。講師には茶華道の先生である稲住邦子さんを迎え、茶道と華道を通じて本格的な和文文化を体験できる。

今回は事前体験取材ということで、親子2組で茶道を体験してきた。茶室に入ること自体が新鮮で、先生を前に全員少し緊張の面持ちでスタート。まずはお茶碗の扱い方から。各々の前に置かれた様々な絵柄、形のお茶碗。「右手で取って、両手に持たせる」「頂くときは正面を避けるように、手前に2度回します」と先生の言葉通りに動く4人。動きにぎこちなさはあるものの、静けさの中、畳に正座して自然と背筋が伸びていた。隣でお茶碗を持つ子どもにも若干ソワソワしたが、普段とは打って変わって落ち着いていた様子で、茶碗を丁寧に扱う姿に感心した。

お茶の頂き方を教わった後、子どもたちはお茶を一服点^たてさせてもらった。茶碗の扱い方、置く位置、身のこなし方まで細かく作法があり、先生



動画をご覧ください。

が一つ一つ丁寧に教えてくださった。

お作法を教わっている間、何度か耳にしたのが「相手」という言葉。お茶碗の扱い方一つをとっても「相手の物を大切に扱う気持ちで」。お茶を出すときには「相手をもてなす気持ち、思いやる気持ち」、立ち上がった移動するときには「相手に背中を向けないように体の向きを変えて」、また茶室に香が焚^たかれていたのも、炭の匂いを消し、快適に過ごせるようにとの心配りから。床の設置、使う茶道具、茶室の空間全てから、季節を感じ取れるように準備をして客人を迎え、一挙一動に至るまで全て、お互いに相手のことを思いやり、もてなす気持ちが込められている。お作法ばかりに集中してしまっていたが、根底にある思いやりの心を学ばせてもらった。

稲住先生は、茶道を通じて相手を思いやる心、人と人との繋がりやコミュニケーションの大切さを子どもたちに感じてほしいとおっしゃった。それは茶室でなくとも、家で家族や友人に対して、お茶を温かいうちに飲んでもらうとか、丁寧に盛り付けてお菓子を出すとか、日常でも心に留めておきたいこと。そういう気持ち、疎^そかにしていたなあと反省した。

今回のイベントに参加する皆さんには日本の伝統文化を学ぶことはもちろん、茶道の心得に触れ、相手を思いやるという大切な気持ちも感じてほしいと思う。

(文 広報事業委員 宮田なぎさ・写真 山口 貴史)

クラシック
コラム

私の楽器遍歴

ピアノ教師だった母に無理矢理のように始めさせられたピアノ。いつからだったのか記憶にすらない。音楽の素養のまったくなかった父は、いやがる息子を毎日ピアノに向かわせようと殴る蹴るわ。泣きながら鍵盤をたたいた悲しい記憶しかない。音楽ならぬまさに音が苦だった。小学4年のときに「やめさせてください」と両親に土下座してやめさせてもらった。しかし文字どおり叩きこまれたおかげか、小学校高学年では鼓笛隊でトランペットを、中学生になってからは色気づいてフォークギターをつま弾くようになった。ピアノも自分から楽しんで弾くようになり、高校2年生からはチェロを始めた。高校を卒業してから入った合唱団ではドイツへの演奏旅行に2度連れていってもらった。バロック音楽を好んで聴きリコーダーを吹くようにもなった。チェロはもっぱら室内楽を仲間と楽しんでいった。伊賀オケに入ってからオーケストラで弾くようになったのは17年前からのこと。今は認知症予防にでもなればと思って9年前から練習し始めたパイプオルガン(正確にはパイプオルガン風の音が出る電子オルガン)でもっぱらバッハの曲に取り組んでいる。毎朝の出勤前2時間の練習が楽しくてしょうがない。



伊賀コミュニティオーケストラ
おか の まさ よし
岡野 正義 (チェロ)

こだわり
人生乾杯

坊主先生の願い

残りの人生、自分は何に命を燃やしたいのか。ずっと考えていた。青年海外協力隊を経て、小学校教員として横浜で長くキャリアを積んできたが、2年前の春、40歳を前に家族と共に伊賀へ帰って来た。実家のお寺を継ぎながら地域の子ども達が自分らしく過ごせる場所をつくろう、ここで自分も成長していこうと覚悟を決め、小中学生を対象に寺小屋を開いた。

寺小屋では「自分で目的に向かうこと、共に学びあう仲間がいること、成長を実感できること」を軸に、勉強だけでなく、縁日の出店や募金といった社会活動にも取り組む。また、国内外で活躍するユニークな大人をリモートで招いては、多様な生き方に触れる機会も積極的に設けている。「外の世界は広い。大きく羽ばたき、いつかふるさとに貢献する芽生えにもつながれば」と願いをこめる。

寺小屋の子ども達と向き合う先に見えてきたもの、それは世界が平和でなければという確固たる思いだ。昨今の国際情勢を憂い、試験を受けてこの春JICA（独立行政法人国際協力機構）に所属した。活動を通して平和の心を届けていきたいと、教育委員会と協力しながら学校現場用の研修資料作りにも力を注ぐ。

この社会に平和の種を蒔く。時き続ける。子ども達が夢を抱き幸せに生きていくことが、坊主先生の一番の願いだから。

（文 広報事業委員 岡森 史枝・写真 山口 貴史）



つみ ま ひと
堤 真人 さん
(浄土真宗高田派大仙寺 副住職)

伊賀の元氣人

『ヨガリコ』のユカリコさん

お伺いした日の教室は生後4か月から2歳前の子とその母たち。『親子のしあわせヨガ』のレッスンの途中幾度も

「水分とってくださいーい、ゆっくりゆっくりいいですよー」と声を掛けつつ、一番動いているのは『ヨガインストラクター&整体セラピスト』のヨガリコこと石橋ゆかりさん。妊娠8か月半の大きなお腹に思わず「大丈夫ですか？」と声を掛けたら、極上の笑顔が返ってきた。

人見知りで不調が多い子どもだった。生まれつきのアトピー体質とひどい便秘、28歳でバセドウ病、31歳で乳がんが見つかり、人生ここで終了と思い心を病んだ。手術後、もっと自分に納得のいく治療法をと模索する中でヨガに出会い体調と心の変化を実感、笑顔を取り戻した。資格を取りヨガを指導する日々の中、新たに出会ったシルクタッチ整体もプラスされ、もっと体験を伝えたいと2020年に著書『カラダとココロを柔らかく』を出版。

「自分の体を知りいたわることで様々なことがうまくいきます。乳がん治療に先立ち卵子凍結にチャレンジしましたが、長女も6月出産予定の第2子も自然妊娠で授かりました。幼少期からの不調経験があるからこそ、辛い人の言葉が聞こえる。まだお母さん2年生ですが、母になったからこそわかることもある。色々な人に寄り添いたいのです」

産後2ヶ月ほどで復帰予定のユカリコさん、今以上に元気一杯の笑顔をお待ちしています。

（文・写真 広報事業委員 今西 由佳）



いし ばし
石橋 ゆかり さん
(ヨガインストラクター&
整体セラピスト)



「さよなら固定電話」

伊藤たかみ

やれやれ、やっとお別れすることができた……といっても、悪い人につきあっていたわけではなく、固定電話の話。ついに解約してしまいました。

ふりかえってみると長いときあいだった。人生初の借金をしたのもこいつのせいだ。かつて電話を使うのには、まず「権利」とやらを買わないといけなかったのだ。僕が学生の頃は確か十万円ほどしたはずで、寮を出て独り暮らしを始めたばかりの身だと、学生ローンに申し込むより方法がなかった。

出会いがこんなだったせいとか、固定電話にはいい感情を抱いていなかったが（もともと電話嫌いだ）、小説の仕事が始めてみるとそうもいってられないくなった。小説を書き出す前には編集者と長い打ち合わせをするので、数時間ぶっ通しで使用する。書き終えると今度はファックスで原稿のやりとり。小説の場合は枚数がケタ違いに多くなるから、毎月、電話代の心配をしなくてはいけないヘビークレーターとなっていました。コラムや書評の依頼も電話で受けるし、作家友達からもかかってくるので、丸一日、着信音の鳴らなかつたという日はなかつたと思う。

それがいつしか、連絡事項はすべてメールになった。原稿も印刷データのやりとりもすべてインターネット経由で、受話器を取る習慣も、電話代の心配もまるでなくなりました。

実際、ここ数年で固定電話にかかっていた用件といえば、間違い電話と小学校からの連絡が数件、あとは、選挙時にかかってくるしつこい電話調査くらいだろうか。現在、固定電話の解約をして数ヶ月が過ぎたけれど、案の定、なんら問題がないわけだから、実際はとうの昔から僕と固定電話の関係は切れていたということになる。なのに毎

伊藤たかみの

たかみ ええわさ



Vol.18

1971年生 上野高校出身、早大卒 小説家
「八月の路上に捨てた」(文藝春秋)で第135回芥川賞。
『さぶそん』ポプラ社、坪田譲治文学賞 など児童書も手がける。

月、基本料金だけは払い続けていたのだから、ばかばかしい話だ。

しかしまた、こいつと縁が切れて少しばかり寂しい気もする。

ところで僕は今まで、幸運にもいくつか文学賞をいただいていた。だがなぜなのか、その知らせはいつも電話じゃない方法で知らされた。編集者経由だったり、手紙やメールだったり、ほとんど固定電話と相性が悪いらしい。そもそもデビューの時からして、応募原稿に電話番号を書き忘れたため電報で知らされたくらいだ。

唯一の例外が芥川賞である。

2006年当時、賞の主催者側と交わす連絡は、ほぼすべて封書で行われていた。何か伝統みたいなのがあったのかもしれないが、さすがに最後まで手紙というわけにもいかない。そこはやはり電話を使う。

ただ、大抵の作家は編集者と外で連絡を待つので、受賞の知らせは携帯にかかってくる。けれど僕はすでに二度も落ちていたものだから、験を担ぐ意味もあって一人家で待つとわがままをいっていた。すると、固定電話が受賞の知らせを届けてくれたのだ。

でも、こいつが遅んだよい知らせはそれっきりとなった。

固定電話にはもう少し誇らしい思いをさせてあげたかったなという、謎の心残りができてしまった。



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

ぶんとチャイルドクラシックプログラム —おなかのなかから小学生になるまで—

第一回 おなかのなかからクラシック

ママとおなかの赤ちゃんに贈る、初めてのコンサート
心地よい音楽で赤ちゃんと一緒にリラックス！

- 日 時 6月19日(日) 開場 10:30 開演 11:00
 ■会 場 伊賀市文化会館
 ■料 金 無料
 ■対 象 妊娠中のお母さまと、大人の同伴者2名様まで
 ※無料託児付き(1歳～6歳の未就学児 先着5名 要申込)
 ■出 演 吉岡克典(ヴァイオリン)、吉岡麻梨(ピアノ)
 ■申 込 ☎22-0511で受付中



第一回 2歳になるまでのクラシック

「ハイハイ」「よちよち」期のおともだちといっしょに！
感性豊かなこの成長期にクラシックを聴きましょう。

- 日 時 6月19日(日) 開場 13:00 開演 13:30
 ■会 場 伊賀市文化会館
 ■料 金 大人500円・子ども100円
 ■対 象 0歳から1歳とその保護者
 ■出 演 矢巻正輝(トロンボーン)、梅田望実(ピアノ)
 ■発売日 発売中



10歳までに聴かせたいクラシック —音で楽しむクラシック—

子どもたちが音楽に親しみながら感性を育み、心の成長につなげることを目的として、小学生を対象にした音楽プログラムです。ぶんとチャイルドクラシックプログラム(未就学児対象)を卒業し、「クラシックのいろは」では、難しく感じるため、段階的に進むまでの、新たな取り組みとして2022年度スタートします。

- 日 時 7月30日(土) 開場 13:15 開演 14:00
 ■会 場 伊賀市文化会館
 ■料 金 大人1,000円・子ども500円
 ■対 象 小学生とその保護者
 ■出 演 山本かずみ(司会・うた)、吉岡 克典(ヴァイオリン)、
 瀬田ひとみ(ヴァイオリン)、岡本名那子(ヴィオラ)、
 吉田 円香(チェロ)、池田 尚輝(コントラバス)、
 越川 雅之(打楽器)、吉岡 麻梨(ピアノ)、
 丸山 耕路(ピアノ)
 ■発売日 6月18日(土)



なるほど〜クラシック

ロマン派音楽の楽しみ Vol.4

〜チャイコフスキーの魅力に迫る〜



「クラシックのいろは2022」をわかりやすく鑑賞するための無料レクチャー！
この講座を受けると、より一層コンサートを楽しめること間違いなし！！

Vol.20 チャイコフスキーのバレエ音楽を味わう
〜3大バレエ音楽の魅力とは〜

講師：鳥居明夫

(伊賀コミュニティオーケストラ指揮者)



- 日 時 7月2日(土) 14:00～
※1時間程度
 ■会 場 伊賀市文化会館 多目的室
 ■料 金 無料(事前申し込み不要)

ぶんとキッズ・アカデミー
目指せアーティスト

モノづくり等を楽しみながら様々な芸術に親しむ機会です。
この機会に、芸術の扉をひらいてみよう！！

- 日 時 8月7日(日)・8月21日(日)
①10:00～11:30 ②13:30～15:00
 ■会 場 伊賀市文化会館 各会場
 ■料 金 1講座1,000円
 ■対 象 小学生
 ■定 員 各10名
 ■講 師 8月7日(日)
 伊藤尚美(水彩画家・テキスタイルデザイナー)
 橋寛憲(針金造形アーティスト)
 なおたくま(絵本作家)
 8月21日(日)
 田槇奈緒(イラストレーター)
 奥中章人(美術家)
 中林彩(JSAアイシングクッキー認定講師)

※詳細はホームページまたはチラシをご覧ください。

BUNTO ART EXHIBITION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心して
ご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

6. 3 (金)

▼
8.22 (月)

10:00~16:30
(入館は 16:00)
火曜日休館

伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 夏の通常展

石仏の画家 穂月明 一人と自然に寄り添う仏一

水墨画家 穂月明が若い頃より晩年まで描き継いだ「野の仏」のシリーズ作品と、そこに石仏が佇んでいるような里山の作品を展示します。仏は遠くにあって崇めるものではなく、身近にあって救って下さるもの、仏教は山谷で修行し衆生を救うのが本来の姿だという作者の思いが込められています。夏のひと時を、涼しいミュージアムで優しい時間をお過ごしください。

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 観覧料 一般300円 (高校生以下無料)

■現地案内「阿保の石仏を訪ねる」 6月18日④ 13:00~ 定員10名 (要予約)

■館内案内「青山讃頌舎の石仏と石像」(展示室) 毎週日曜13:30~ 先着15名

■ワークショップ・夏休みの工作「飛ぶおもちゃを作る」(展示室中庭)

7月30日④ ①10:00~ ②13:00~ 定員各10名 (小学生以上・要予約)

【お申込み・受付】青山ホール 電話0595-52-1109 (詳細はお問合せください)



6.15 (水)

▼
6.19 (日)

10:00~17:00
(最終日 16:00)

伊賀陶芸会展

伊賀陶芸会の設立50周年を記念し、各会員が様々な表現の作品を出展するほか、伊賀焼の基を築いた「岡森章」「坂本瀧山」「谷本光生」の3故人の作品から会の歩みを振り返ります。岡森明彦氏(郷土史家)と会員らの座談会や、好きな茶盃(会員制作)を選んで抹茶を楽しむ催しもあります。

■座談会■ 19日④14:00~ (参加自由)

■茶 会■ 18日④・19日④ どちらも10時・11時・13時・14時の4回。料金400円。

※各回定員8名(予約制) 6月1日午前10時から電話0595-22-0511で先着順に受付

会 場 史跡旧崇広堂

料 金 入場無料 (会員作品を販売します。一部の引き渡しは後日になります)

[主催] 伊賀陶芸会 [協力] 伊賀華道協会・(公財)伊賀市文化都市協会



6.23 (木)

▼
7.2 (土)

10:00~18:00
(最終日 15:00)

AKAIKE ART GALLERY 2022

石田 慎 硝子作品展

MAKOTO ISHIDA GLASS EXHIBITION

伝統工芸として知られる切子ガラスはガラス本体の制作と切子が分業になっています。その中で、ガラスの成形から切子、装飾まであらゆる技法を用い、ひとつひとつ丁寧に制作しています。そこから生まれる美しく研ぎ澄まされた唯一無二の作品をどうぞ高覧ください。

会 場 赤井家住宅

展 示 石田 慎 (ガラス作家)

料 金 入場無料 ※作品を展示販売します。



7. 9 (土)

▼
7.24 (日)

10:00~18:00
(最終日 16:00 まで)
火曜日休館

生活工芸展 2022

全国で活躍する工芸家の器やオブジェが一堂に集結。また、今展では「生活工芸」を代表する木工家、三谷龍二の歩「1981-2021木工房の40年」と題した特別展示も行います。

日本で受け継がれてきた工芸を生活の一部とし、日本の器文化、工芸文化の魅力をこれからの作り手、使い手に感じて頂ける機会としてお楽しみください。

会 場 史跡旧崇広堂 (伊賀市上野丸之内78-1)

料 金 入場無料 ※作品を展示販売します。

出 展 全国の工芸作家約70名

共 催 gallery yamahon 山本忠臣



キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」 バックステージツアー参加者募集！ ～バレエ舞台の裏側をのぞいてみよう～

<仕込み見学>

舞台の設営や照明・音響の調整など、何も無いところからどのようにセットが飾られていくのかを客席で見学できます。

■日 時 8月27日(土)9:20 伊賀市文化会館 集合

■見学時間 約50分

<リハーサル見学>

開場前の舞台上にてバレエ団が行っているリハーサルを客席で見学できます。

■日 時 8月27日(土)13:50
伊賀市文化会館 集合

◆見学時間 約40分

★募集定数 200名(仕込み見学・リハーサル見学いずれも)

※先着順とし、公演(8/27)のチケットを購入した方に限ります。

※3歳以下のお子様はご遠慮ください。

★申込方法 7月10日(日)10:00から
☎22-0511で受付



TOUCH THE STEINWAY 憧れのスタインウェイが弾ける

■あやま文化センター 8月7日(日)

開催時間 各日 10:00～17:00

□演奏時間 30分

□参加費 1 枠 500 円 ※1 枠 2 名まで

□募集人数 各 14 枠

※先着順とし、定員になり次第締切

□申込方法 6月18日(土)11:00から電話受付

●あやま文化センター ☎43-1125 (月曜休館)

※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。

※受付初日は1回のお電話で2枠までの受付とします。

※楽器等の持込みはご遠慮ください。



キレイ♡アートフェスタ

子どもから大人まで楽しめる体験が盛り沢山！！

出展者の作品と向き合う姿勢や思いに触れ、色々な感情や思いを感じてみてください。

■日 時 7月3日(日)

10:30～16:00

■会 場 伊賀市文化会館

■料 金 入場無料

※体験・販売等有料



共催：キレイ♡アートフェスタ事務局

ノルディックウォーキングを体験してみよう！Vol.25

ノルディックウォーキングとは、北欧生まれのウォーキングエクササイズ！インストラクターが歩き方を丁寧に指導しますので初めての方も是非ご参加ください。

■日 時 7月13日(水)

9:30～11:00

(受付9:00～)

■会 場 しらさぎ運動公園周辺

(伊賀市下友生3032番地)

※雨天時は多目的グラウンド

■参加費 200円

■対 象 18歳以上

■定 員 50名

※先着順とし、定員になり次第締切

■申 込 6月15日(水)10:00から

☎24-1184で受付



ボール貸出
無料!!

ぶんと事務局職員募集 令和4年10月1日採用予定

文化芸術の振興や伝統文化の継承、事業の企画・実施、公共施設の運営・管理等に関する業務に経験のある方、または携わることに関心のある方の応募をお待ちしています。

【採用職種】 正職員トライアル職

【予定人数】 2名程度

【応募要項】 ホームページに掲載、伊賀市文化会館及びあやま文化センターで配付

【応募要件】 令和4年9月末時点で、民間企業などで次の経験を有する人

・高校以上を卒業し、通算7年以上の(うち同一企業等で3年以上の継続した)実務経験を有すること
ただし、大学を卒業している場合、同一企業等で3年以上の継続した実務経験を有する人

【試験日程】 第1次試験 令和4年7月31日(日) 能力検査(基礎能力・事務能力)及び適性検査

第2次試験 令和4年8月20日(土) 第1試験合格者対象の個別面接

【試験会場】 産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」テクノホール

【受付期間】 令和4年7月15日(金)午後6時まで(厳守)

■応募先・問い合わせ (公財)伊賀市文化都市協会事務局 総務課 ☎22-0511

ホームページ <http://www.bunto.com>



職員採用特設ページ▲

編集後記

先日事務局に平成23(2011)年10月発行・第78号「伊賀のええもん見つけた」に記述がある橋井又五郎という人物についての問い合わせがありました。現在も上野天神宮に保管されている「幻のだんじり 農人町様車模型」の作成にかかわる江戸末期の商人(屋号は佐那具屋:上野で奉公するなら農人町の富田屋か佐那具屋と言われた豪商)についてです。執筆したころの資料をひっくり返し、当時お世話になった方に連絡を取り、町の長老にも話を伺いに行きました。はたして依頼者のご要望にお応えできたのか定かではありませんが、文責者として精一杯のことはしたつもりです。じつに10年以上を経過しての再調査となりましたが、伊賀人(いがびと)の郷土愛の強さと知的欲求度の高さをあらためて感じる出来事でした。(広報事業委員 菊野 善久)

BUNTO TICKET

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

6月19日(日) 開場 13:00
開演 13:30

第一回 2歳になるまでのクラシック

出演者 矢巻正輝(トロンボーン)
梅田望実(ピアノ)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 自由 発売中
大人 500円・子ども 100円



6月22日(水) 【昼の部】開場 14:30 開演 15:00
【夜の部】開場 18:30 開演 19:00

TAIRIKプロデュース
古澤 巖の品川カルテット
Concert2022 in伊賀

■会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 発売中
【前売】一般 5,500円 SaMaZaMa Club会員 5,200円
【当日】一般・会員共 5,500円
※300名限定/各部(ソーシャルディスタンス座席)



ヴァイオリン 古澤 巖

ヴァイオリン TAIRIK



ヴァイオリン 福田悠一郎

チェロ 高木 慶太

7月18日(月・祝) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.32
桂真優ピアノリサイタル

出演者 桂 真優(ピアノ)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 自由 発売中
500円



7月24日(日) 開場 14:15
開演 15:00

クラシックのいろは2022
チャイコフスキーサウンドを追い求め! vol.1
その迫力! ホールで聴けば倍増。
~偉オチュリスト・水野優也が今年も登場~

■会場 伊賀市文化会館

料 金 セット券(Vol.1~3) 指定 5,000円 発売中
一般 自由 2,000円 会員 自由 1,800円
高校生以下 自由 700円 ペアチケット 自由 3,500円



チェロ 水野 優也

指揮・ナビゲーター 寺岡 清高



7月30日(土) 開場 13:15
開演 14:00

10歳までに聴かせたいクラシック
一音で楽しむクラシック

■会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 6/18(土) 発売
大人 1,000円・子ども 500円



8月27日(土) 開場 15:15
開演 16:00

キウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」(全2幕)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 6/11(土)・12(日)会員先行予約 6/25(土) 一般発売
【前売】一般 2,000円
SaMaZaMa Club会員 1,800円
高校生以下 1,000円
【当日】一般・会員共 2,000円・高校生以下 1,000円
※本公演は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託収入を財源とした助成金を受けて開催します。



9月23日(金・祝) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.33
ソプラノとピアノによる愛のうた

出演者 奥藤ありさ(ソプラノ)
大島万穂(ピアノ)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 自由 7/18(月・祝) 発売
500円



青山ホール休館及び事務所一時移転のご案内

青山支所解体及びホール特定天井工事の為、下記の期間 休館 いたします。
つきましては、その期間の事務所業務(ホール申請及び体育施設申請等)は、仮事務所にてご対応させていただきます。
しばらくの間、ご不便をお掛け致しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

期 間 2022年6月1日(水)~2023年1月4日(水) 予定

※1月4日(水)は体育施設受付のみを行います。

工事の進捗状況により延長する場合もございます

仮事務所 青山グラウンド(伊賀市奥鹿野1988-1)

お問合せ 青山ホール 0595-52-1109

※お問合せ先は従来通り変更ございません。

ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
6月5日(日) 13:00~	民謡やよい会第32回発表大会	無 料	民謡やよい会 ☎23-7617 (中野)
6月19日(日) 11:00~	ふんとチャイルドクラシックプログラム 第一回 おなかのなかからクラシック	無 料 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
6月19日(日) 13:30~	ふんとチャイルドクラシックプログラム 第二回 2歳になるまでのクラシック	大人 500円 子ども 100円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
6月22日(水) 【昼の部】15:00 【夜の部】19:00	TAIRIKプロデュース 古澤巖の品川カルテットConcert2022in伊賀	一般 5,500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
6月26日(土) 13:00~	新施設「ふくろあおこし」竣工記念 ひまわりコンサート「太陽に両手広げて30分」	無 料 (要整理券)	社会福祉法人維新育会 ふくろあ ☎0595-22-8600
7月3日(日) 10:30~16:00	キレイ♡アートフェスタ	無 料 (体験・販売等有料)	キレイ♡アートフェスタ事務局 ☎090-7315-9986 (竹島)
7月9日(土) 12:00~	いきいき未来いが2022	無 料	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議-伊賀市 ☎22-9632
7月10日(日) 14:00~	上野合唱団 創立75周年 記念演奏会	1,000円	上野合唱団 ☎080-1609-9613 (上田)
7月18日(月・祝) 14:00~	bimonthly Concert Vol.32 桂真優ピアノリサイタル	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
7月24日(日) 15:00~	クラシックのいろは2022 チャイコフスキーサウンドを追い求め! vol.1	3回セット券5,000円 【自由席】 一般 2,000円 高校生以下 700円 ペアチケット 3,500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
7月30日(土) 14:00~	10歳までに聴かせたいクラシック 一音で楽しむクラシック	大人 1,000円 子ども 500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)

あやま文化センター

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
6月12日(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎43-1125 (あやま文化センター)
6月26日(日) 13:00~	ポーコ・ア・ポーコ・コンサート	無 料	渡邊美和 ☎090-7670-8823

お問い合わせ

(公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595(22)0511 Fax0595(22)0512 <http://www.bunto.com>
伊賀市文化会館 ☎0595(24)7015
青山ホール ☎0595(52)1109 あやま文化センター ☎0595(43)1125

今回の発行は8月1日号になります。